



# **NPOが社会を変える**

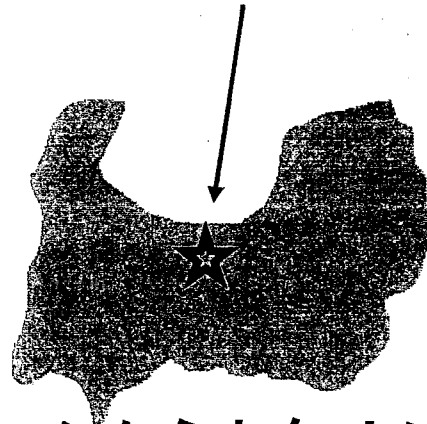
## **～富山型デイサービスの13年～**

---

特定非営利活動法人 デイサービスこのゆびと一まれ  
副代表 西村和美

# このゆびとーまれとは

富山市でH5年7月に産声をあげる



富山赤十字病院の  
看護婦3人が始めた  
デイケアハウス

赤ちゃんからお年よりまで  
障害児も障害者もみんないらっしやい  
このゆびとーまれ!

最初の利用者は障害児であった。

このゆびと一まれの理念  
「だれもが、地域で、ともに暮らす」



豊かな人間関係の中で人は育ち、喜びも大きい。  
一人ひとりが輝く。

みんなが一つ屋根の下で過ごすことは


日本の文化である

---

お年よりは赤ちゃんの顔を見ただけで笑顔がでる

「この子達といると気がはれる」

あたり前・普通の生活をしているだけである。



# このゆびと一まれの日常

このゆびと一まれの

## 畳の上で大往生した3事例

本人 安らかな顔をしている

家族 「これでよかった」

お年より 「私もこんな死に方をしたいわ」

子ども 「〇〇ばあちゃん、のんのさんになっただね」

「お星さまになっただね」


スタッフ 出会いやご縁に感謝し、死にゆく過程を大切にすることを学ぶ



---


- 知的障害者の方が働いています

- 利用者からスタッフへ



富山県民一人ひとりが、  
日々感動とチャレンジ精  
神をもち、死にがいのあ  
る町づくりを進める





## 死にがいのある町作り

1)「この町で死ぬんだ」と腹を決める。

2)「私もこうやって、死にたい」

「畳の上で大往生されてよかった」  
という死を多くする。

身近な死のありがたさを感じる町づくり